



はまボラ

2023年
(令和5年)
10月号

HAMADACITY SHAKYO

けん玉で交流

炊き出しを体験

いかのおすしのお話し

ユニバーサルスポーツで交流

つながりって楽しいね!

サマボラ開催!

サマーボランティアスクール

8月1日(火)、市内小学校3年生から6年生までの29名が、大人と一緒にけん玉やインドア・モルックなどを体験。

けん玉交流では、日本けん玉協会島根県支部けん玉道6段 大坪 順さんにご指導いただき、けん玉の技だけではなく、初対面の人でもすぐに打ち解けられるコミュニケーション方法について学び、また、ユニバーサルスポーツ「インドア・モルック」では、スポーツというツールで交流することで、自然と心の距離が近づき、一体感が生まれること感じてもらうことができました。



地域の中で、一人ひとりが孤立することなく、つながりを持ち、お互いに助け合って安心して暮らせるように交流の場はとても重要な役割を持っています。

この事業を通じて、世代の違いなど関係なく、相手を思いやる気持ち、つながりを意識した顔の見える関係づくりの大切さに気づくことができた、子どもと大人の学び合いの一日となったことでしょう♪

【発行】 浜田市ボランティアセンター 社会福祉法人浜田市社会福祉協議会

〒697-0016 浜田市野原町859-1 浜田市総合福祉センター内

TEL : 0855-22-0094 FAX : 0855-22-6930

mail : hamada-vocenter@hamada-shakyo.com



実践中!

～ 我が家のような地域づくりを目指して～ 「ふくしの学び合い推進事業」

浜田市社協では、「我が家のような地域づくり」を目指し、すべての人々が「福祉への関心」「心の醸成」を図り、社会福祉課題解決の実践力を身につけていくため、学校等と連携し、福祉教育の実践を支援しています。

また、地域においても、顔の見える関係とお互い様の気持ちを大切に「地域で共に生きる力」を育むため、地域における福祉教育のプラットフォーム(※)づくりを進め、「学校・社協・地域がつながる福祉教育」に取り組んでいます。(下記の写真は、現在〔令和5年度中〕取り組んでいるもの掲載しています。)

れんげ保育園



サマボラ



福祉教育におけるプラットフォーム(※)

様々な人々・団体等がそれぞれの特性を発揮しながら、協働して福祉教育に取り組むための共通ルール、システム、協働の場を指します。

防災

浜田養護学校



原井小学校



介助

浜田東中学校



あいサポ



三階小学校

松原小学校



手話

ボランティア養成講座

見守り



若潮学級
(雲雀丘小学校児童クラブ)



災害ボランティア研修会

住民同士のつながり構築に向けた防災講座

昭和58年の豪雨災害から今年で40年が経過し、その間、浜田市においても、豪雨や豪雪等により甚大な被害を経験しました。全国各地において地域ぐるみで防災・減災の取り組みが進められ、地域住民のつながりが強い地域は災害にも強いと言われています。

8月8日(火)、浜田市総合福祉センターにおいて、69名の方にご参加者いただき、災害ボランティア研修会を開催しました。

講師に浜田市防災安全課 松島 芳弘さんを講師に迎え、「浜田市における防災活動の状況と地域住民の連携について」と題してご講義いただき、8つのグループに分かれて「※避難所運営ゲームHUG」を体験。カードに書かれた様々なお題に対し、イメージを膨らませ、住民同士や関係機関との連携体制や決断力の大切さ、決断力の重要性などを感じながら、各グループで意見を交わし、避難所運営について演習しました。

「地域で防災について話し合いの場を持ちたい」「自分の地域でもHUGをやってみたい」など、感想をいただくことができ、平常時から地域の中で、つながりを意識した取り組み、住民同士で話し合いをいくことの重要性など、気づきの多い研修会となりました。



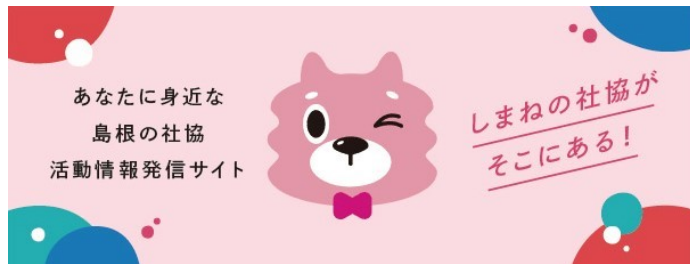
「※避難所運営ゲームHUG」とは…

- ・避難所運営をみんなで考えるためのアプローチとして、静岡県が開発した図上訓練です。
- ・具体的で実践的な避難所運営を疑似体験できます。
- ・グループに分かれての演習となるため、参加者同士の交流や連帯感が生まれます。

【静岡県HP 静岡県地震防災センターより引用】



県内20の社会福祉協議会の合同ウェブサイト「しまそこ」



<2次元コード>



島根県には、県・市町村あわせて20の社会福祉協議会(略して、社協【しゃきょう】)があります。それぞれの地域にあわせて、特色のある活動を展開し、地域の福祉活動を支えています。もっと活動を知ってもらいたい!という思いで、県内合同のウェブサイトしまねの社協がそこにある(通称:しまそこ)が誕生しました。ぜひ!社協の活動をウェブサイトからご覧ください!

ボランティア活動状況のご報告

令和5年4月1日~9月30日

1. 相談件数 39件
2. 派遣状況 21件
- ① 障子の張り替え 1件
- ② 託児 3件
- ③ 音訊 3件
- ④ 付き添い 2件
- ⑤ 草刈り・草取り 2件
- ⑥ イベント運営・補助 9件
- ⑦ その他 1件



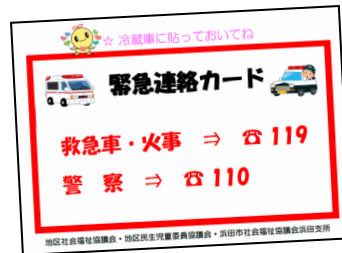
障子の張り替え

登録ボランティアの皆さまには、いつも快くお引き受けいただき、とても感謝しています。ありがとうございます。今後とも皆さまのご協力をよろしくお願いたします。また、ボランティア活動してみたい!してほしい!という方は、ボランティアセンターにお気軽にご相談ください。

万が一の時にあなたの命を守る

緊急連絡カード配布事業

進めています！



♥緊急連絡カード配布事業とは♥

あらかじめ、救急時に必要な情報(緊急連絡先、かかりつけ病院など)を平常から冷蔵庫に貼付しておき、ご本人に異変が起こり、近隣住民や救急隊が駆けつけた時に、緊急連絡カードから必要な情報を迅速に把握し、その後のスムーズな対応につなげていくことを目的とする取り組みです。

♥配布対象者♥

- ① 浜田地域内の一人暮らし高齢者(概ね80歳以上)で、本人の同意を得た方
- ② その他必要と思われる方で、本人の同意を得た世帯

♥実施主体♥

- ① 地区社会福祉協議会
- ② 地区民生児童委員協議会
- ③ 浜田市社会福祉協議会浜田支所



ここで折る！

見本

緊急連絡カード				
☆冷蔵庫に貼ってください。				
(年 月 日作成)				
本人氏名	性別	生年月日	血液型	
緊急連絡先	氏名	続柄	住所	電話番号
①親族				
②親族				
③支援者				
④支援者				
	氏名			電話番号
民生委員				
町内会長				
福祉委員				
ケアマネジャー	氏名	事業所		電話番号
かかりつけ医	氏名	病院		電話番号
かかりつけ医	氏名	病院		電話番号
保険証番号				

♥連携機関♥

消防署、警察、医療機関、民生児童委員、行政、社会福祉協議会、高齢者相談支援センター(包括支援センター)、ケアマネジャー等福祉関係者

対象となる方には、随時、民生児童委員さんや福祉委員さん等が、お声かけして緊急連絡カードを配布しています。

このカードは、ご自身やご家族、地域の方に“安心”が広がるものと考えています。一人でも多くの方に趣旨をご理解・ご協力をいただき、この取り組みを進めていけたらと思います。

善意のお礼 収集ボランティア

令和5年3月20日から9月30日まで

下記の収集ボランティアさんにご協力いただきました。ありがとうございました。(順不同・敬称略)

【新聞のゴミ袋】

- ・退職公務員連盟女性部
- ・18(いっばち)会

【古切手】

- ・浜田市役所
- ・浜田地区社会福祉協議会



善意の物品寄付に対し、心よりお礼申し上げます。

島根県障がい者スポーツ大会 バドミントン競技会

ボランティア大募集!!

内容: 運営補助(会場設営、選手受付、記録、選手誘導等)

日時: 令和5年12月9日(土) 9:25~15:30
(集合8:00/解散15:40)

会場: 島根県立体育館(浜田市黒川町3735)

準備物: 動きやすい服装、飲み物、タオル、屋内用シューズ

申込み: 11月24日(金)までにお申し込みください。

その他: ①現地集合・現地解散です。

②昼食は、主催者側で準備します。

③ボランティア活動証明書を発行します。

※競技についての詳細(島根県障がい者スポーツ協会HP参照)

<https://spokyo.org/tournaments/information01/flying/>

問合せ
申込先



浜田市ボランティアセンター(担当:河野)
TEL: 22-0094
mail: hamada-vocenter@hamada-shakyo.com